

# KOGAOSTUDIO

## 「女性のロールモデルに、私はなる」



富士 伶奈

Miss universe Japan preliminary 2022東京  
Best of Miss Tokyo 2022 グランプリ  
Fuji Reina  
ミックス（イラン×日本）  
大手自動車メーカー勤務

平野 裕子

株式会社Gold spoon 代表取締役 社長  
KOGA STUDIO自由が丘/二子玉川店 オーナー  
Hirano Yuko  
ベスト・オブ・ミス東京スポンサー（4年連続）  
シンママ（長女 13歳・長男 8歳ダウン症 21t）

富士 4年連続でベスト・オブ・ミス東京のスポンサーをしている理由を教えていただけますか？

平野 ファイナリストの成長過程に感動をいただけ、少しでも力になりたいと思つたからです。あつという間の4年目です。頑張る人を応援できるのが最大の魅力で、回を重ねる度に皆さんのが良さがより深くわかるようになりました。事務局の方やファイナリストの皆さんのが頑張る姿は、本当に輝いています。特に大会が近づくにつれ磨きがかかっていく過程が私は素敵だなって思います。

富士 スポンサーになつたきっかけは？

平野 古屋さん（ベスト・オブ・ミス東京実行委員）との出会いです。古屋さんから「小顔スタジオ」「ゴールドスプレン」「平野裕子」の魅力を引き出す提案をつけられました。コロナ禍が始まつた頃だったので、『変化』をつけられるという期待もありました。

富士 平野さんは子育てと店舗経営を両立され、女性活躍を体現されていると私は思います。どんな経緯で経営者になりましたか？

平野 美容メーカーで販売員をやつていましたが、独立したほうが自分らしい「生き方」ができると思い起業しました。

富士 平野さんは女性をきれいに輝かせる、大好きな仕事でした。20代で結婚し長女を出産。30代の生き方を考えたときに「自ら何かを起こしたい」と思い、30歳で起業しました。退職の挨拶で「心から笑える女性になりたいと思います」と本当に生意気な挨拶をしたのを覚えています。大好きな仕事だつたし感謝もしていましたが、この宣言は人生を変えるターニング

ポイントです。

富士 衝撃的な退職の挨拶ですね。平野さんの強さを感じます。経営者の今、お仕事への想いと子育てについて意識していることを教えてください。

平野 仕事を対しては、スタッフとの関わりです。その時間がすごく大切だし、女性として何か役に立てることがないかと日々努力しています。あとは「小顔スタジオ」を広め、女性オーナーの少ない美容整体という業界をどれだけ盛り上げられるかを意識しています。お客様には身体や顔が魅力的に変わることで、『新しい人生が歩み始められた』とお声を頂けるような場を作りたいです。

富士 子育てに関してはいかがですか？

平野 自分の頑張っている姿を見せることを意識しています。正直毎日バタバタです。仕事と子育ての両立って、綺麗ごとではなく本当に大変。でも子供が成長するまで一生懸命サポートしたい。逆に子育てをしながら「親育て」してもらつてるとも思います。

富士 子育てで学んだことを事業に活かしたりすることもありますか？

平野 あります。子供が自分の手元にいる時は、リアルな生き方の事例を伝えられるのは私しかいません。だからこそ、仕事する姿も見せながら、一生懸命子育てもやりたいと思っています。

富士 平野さんはいろんな世界を知つてるので、型にはまらないお子さんに育ちますか。だから、ケータイではわからない



い私の生き様をしっかりと見せていくのが私のテーマかも知れません。

**富士** ダウン症についての認知や理解を深めるため様々な活動をされています。どのような思いで活動されていますか？

**平野** ダウン症の実態を知つてほしいと

いう思いです。なぜなら、知らないこと

で誤解や偏見などが生まれるということ

を痛感してきたからです。息子がダウン

症で生まれてくれたことは、私にとって

「最大のギフト」。まさか自分が障がい

児のママになるなんて想像してませんでした。息子は今8歳。だから私も息子の

ママになって8年かけて、やっと気持ち

と行動がマッチングしてきたというのが

正直なところです。ダウン症について知

らない人と接していると『大変だね』

『かわいそうだね』という言葉をいただ

きます。当の私は全くそんな風に思わず、

世間とのギャップに苦しみました。これ

は相手が悪い訳ではなくて、知らないだけだって気がつきました。それが今の活

動につながっています。

**富士** 私はスペシャル・ビューティー・

ジャパン（ダウン症・自閉症など知的発達障害のある若者たちがランウェイウォークなどで自分を表現するイベント）に携わったことがあります。ダウン症の子た

ちが何人かいましたが、感情を表に出す力というのがもう本当に凄かったです。ウォーキングする場面では「私を見て！」みたいな感じで、「瞬でクギ付けになりました。当时ダウン症の方と交流経験がなかったので、感情表現の力強さに驚きました。イベントでは愛情の深さ、ストレートな感情表現など、そのパワーに圧倒されました。

**平野** 触れ合うと彼らならではの魅力がわかりますよね。

**富士** はい。もう本当にストレートに表現してくる。触れ合つたことで、ひとりの人として人間関係が構築できると強く思いました。

**平野** 本当にそうですね。ダウン症の特徴として、やっぱりピュア。心が凄く澄んでいるんですよ。だから逆に私の方が「心が汚れてる？」って自問自答したり（笑）。息子がいることで自然に笑了たり、体がスースッと楽になつたり。そんなパワーもあるのかなって思いますね。

**富士** 私達は日常生活をしていると、「ありがとう」という言葉や「悲しい」という感情を伝える事がおざなりになりがちです。でも彼女、彼らはこういう純粋な感情表現を100%でしてくる。こういう風に生きるのが本来の人間らしさ

ちが何人かいましたが、感情を表に出す力というのがもう本当に凄かったです。ウォーキングする場面では「私を見て！」みたいな感じで、「瞬でクギ付けになりました。当时ダウン症の方と交流経験がなかったので、感情表現の力強さに驚きました。イベントでは愛情の深さ、ストレートな感情表現など、そのパワーに圧倒されました。



**平野** なんじやないかつて感じました。

**平野** おっしゃる通りですね。

**富士** 平野さんが執筆された『誰にも振り回されない輝く女性になれる20の生き方』、読ませていただきました。気になつた点が2つあります。1点目は、ダウン症児のママとしての悩みや不安をなるべく外に出すようにした、というお話。

**平野** 日本の女性は悩みを外に出せなくて悩んでいる人が多いと思いますが、なぜ悩みや不安を発信しようとしたのですか？

**平野** 疑問に思いますよね。

**富士** 実は私の母も、結構一人でため込んでいたので。どういう過程を経て、発信するようになつたのか気になります。

**平野** 私も当初は「誰かに頼る」「悩みを言う」などできなかつた。恥ずかしいと思つていました。ただ息子が生まれた時に、どうしていいか分からなく、人生最大の悩みがどんどんやつて来てそれどころじやなかつた。だから抱え込まないようになりました。自分の為に。変わるべきかけを息子がくれたという解釈で、私は気持ちをオープンにしていました。

オープնにすると『協力するよ』って人

が現れる。オープンにしていて本当に良かつたなって感じています。

きりするメリットもありそうですね。  
**平野** そうですね。やっぱり人からの影響力というのは一番大事。「人に頼る」ということは、ある意味生きていく上で大切な事なんじやないかと感じています。  
**富士** もう一つは感謝を伝える事を凄く大切にされてる点です。きっかけはありますか？

**平野** あります。

仕事と子育てを両立する中で、私一人で全てをこなすことはできません。たくさんの方の協力で今の自分がいる。この恩を返していくために「ありがとうございます」という言葉と「感謝を伝える事」を心掛けるようになりました。

**富士** 現時点でも様々な活躍をされている平野さんですが、最後に今後のビジョンなどを教えていただけますか？

**平野** 私のビジョンは「女性のロールモデルになる」とです。人生の経験値はかなり持つていると思います（笑）。今までの人生ストーリーは書籍を読んでいたくとして、現在は「シングルマザー×ダウン症児のママ×女性起業家」として活動しています。だから皆さんが悩んだり、苦しいなと思った時に『あつ、こんな人が頑張ってるんだ』と感じてもらいたい、勇気を与えられる存在になれたらいなどと考えています。

【発行】2022ベスト・オブ・ミス東京事務局  
【制作】株式会社コネクションズ  
代表取締役 古屋亮  
※本誌の無断転載・複製を禁じます。  
©2022 Best Of Miss Tokyo. 2023/3/25